



# 山法師

寒河江中部小学校

学校だより

令和8年 3月19日

校長 佐藤 匡一

## 希望に向かって学び舎を巣立つ・・・。

例年よりも早く、冬の寒さも和らぎ、校庭の木々にも、春の訪れを感じる爽やかな季節となりました。

3月18日(水)、6年間の教育課程をすべて修了した100名の卒業生の皆さんが、寒河江中部小学校を巣立って行きました。

この一年間、最上級生として後輩の師表となる行動を示し、責任をはたしてくれた卒業生。「笑顔」、「意思」、「素直」、という3つの言葉がふさわしい卒業生。「元気いっぱい 夢いっぱい いのち輝く中部っ子」という学校教育目標に向かい、日々、努力した成果であると確信しています。またそれは、学校や保護者の成果でもあり、地域の成果でもあります。共に喜びを分かち合いたいと思います。

先輩方がそうであったように、中学校に進学しても、寒河江中部小学校の卒業生であることにプライドを持ち、自分たちのふるさとへの感謝の思いを胸に、後輩たちを見守り続け、地域に貢献できる力をつけていって欲しいです。

一人一人が、輝ける未来に向けて、大きく羽ばたき、幸せな未来を創り上げることを期待しています。



## 全校児童による六年生を送る会！！

『6年生が安心して、希望を持って中学校へ行けるように感謝と応援の気持ちを伝えよう。』をスローガンに、全校児童で「6年生を送る会」を実施しました。卒業式に参加する在校生は5年生だけとしていますので全在校児童が感謝の気持ちを伝えることができる唯一の機会がこの「6年生を送る会」です。

5年生～1年生のあいさつと群読、合唱、エール、全てが立派でした。感謝の気持ちが十分に伝わりました。

こんなに5年生～1年生ができるようになったのは、6年生の皆さんが、育ててくれたからです。1年間といわず、これまでずっと、見本となる行動を見せてくれたからです。後輩の立派な姿は、6年生が最高学年として役割を果たしたという証明です。6年生に感謝です。

頼もしい後輩の姿を見て6年生も嬉しそうでした。同時に、感謝の気持ちを伝えてくれました。



6年生の合唱



6年生にエール!

## 修了式の児童代表あいさつ

児童代表 4年 新宮 雅翔

ぼくは、1年間を振り返ると特にながらったことが2つあります。

1つ目は、ずっとなりたかった応援団になりみんなをもちあげたことです。初めてで分からないことが多かったけれど、5・6年生のみなさんからいろいろ教わり、白組が勝つようにながらりました。結果は、負けてしまったけれど、みんなと力を合わせて、応援できたので良かったです。

2つ目は、2分の1成人式です。お父さんやお母さんに感謝の気持ちを伝えられるように、練習を人一倍にながらりました。本番では、心をこめて歌とメッセージを送り、お家の人に喜んでもらうことができました。これからも感謝の気持ちを伝えていきたいです。

来年からは、5年生です。学習も難しくなるので、毎日の自主学習で予習・復習に力を入れていきます。高学年として委員会活動にも参加し、みんなをひっぱっていきける5年生になりたいです。